

ファミリー・サポート・センターの活動は、 安心・安全を第一にする、地域の支え合いの活動です。

～ネットでのベビーシッターの事件に寄せて～

今年3月、インターネットのマッチングサイトを通して預けられた2歳の男の子が、ベビーシッターを名乗る男性の自宅から遺体で発見されるという大変痛ましい事件が発生しました。

ファミサポの活動は、お子さんを1対1でお預かりする活動ではありますが、活動の意義と社会に対する役割、活動の内容においても、ネットを介して行われるベビーシッターとは全く異なるものです。

ファミサポは地域で生活する会員同士が助け合う「相互援助活動」として行われます。お金で雇われた主従関係ではなく、会員同士は対等な関係であり、ファミサポの活動を通して、地域における親（依頼会員）の生活にも「安心」や「元気」が得られ、親子（依頼会員）と育児支援をする人（提供会員）とが、互いの信頼関係を築いてきました。このように、親と子が、地域の人と出会い、信頼関係を育て、地域の生活に根を下ろしていく、そのきっかけともなるところにファミサポの意義があり、子どもたちの育ちを地域で支える仕組みとして社会的にも重要な役割を果たしています。

ファミサポでは、これまで一貫して、「子どもを預かる」ことは即ち「子どもの命を預かる」ことであるとその責任の重さを認識した上で「安心・安全」な活動を心掛けています。そのため、活動前の「事前打ち合わせ」を必須とし、お互いが顔を合わせ、納得して、初めて、正式な活動に入ります。しかし、こういったプロセスに対して「子どもを預けたい時にすぐに預かってもらえない」と、手続き面での煩わしさを指摘する意見も一部見受けられました。ただ、このような悲しい事件が起きた今、ファミサポが行ってきたプロセスは一見面倒に見えても、安心・安全のために大事であり、決しておろそかにすることはできないと、改めて認識できました。

この事件から「安心・安全」は何より優先されるべきことと、改めて確認できました。そして、これからも、地域の子育てを支える相互援助活動として「安心・安全」を第一に、人と人とのつながりや信頼関係を大切にすファミサポの存在意義はますます大きくなることでしょう。

一般財団法人女性労働協会発行「ファミリーサポートネットワーク通信」より引用



私たちアドバイザーは、会員の皆様が地域の中で「安心・安全」な活動ができるよう、援助の依頼内容、子どもの特性や発達などを考慮し、個々に応じた対応を心がけマッチングを行います。「事前打ち合わせ」への立ち会い、会員間の意思疎通のための助言、トラブル発生時の対応など、責任をもって会員相互の橋渡しを行い、皆様に寄り添ったサポートに努めます。



ファミサポ行事予定 お申し込みは ・811-2225



★まかせて会員養成講座★

●会場：綾川町いきいきセンター

7月24日（木） 9:00～15:20
7月25日（金） 9:00～15:00
7月29日（火） 9:30～15:10
7月30日（水） 9:00～12:10

●会場：高松市民防災センター

10月28日（火） 9:30～15:10
10月29日（水） 9:30～15:10
10月30日（木） 9:30～15:30
10月31日（金） 10:00～14:30

※10月の託児はありません

●会場：三木町役場会議室棟

平成27年1月（予定）

●会場：高松市男女共同参画センター

平成27年3月（予定）

●受講料無料・無料託児付

★全体スキルアップ講座★

「ヤクルト ウン知育（ちいく）教室」

～いいウンちって?? 腸の健康状態を知るための健康教室～
講師：香川ヤクルト販売（株）管理栄養士 長尾 志津代さん
日時：8月2日（土） 10:00～11:00
会場：高松市男女共同参画センター ※参加費無料
対象：ファミサポ会員・3歳以下無料託児あり（定員10名）



★全体交流会★

「hacomoのダンボールタウンで遊ぼう！」

～みんなで協力して「ダンボールの町」を作ろう～

日時：9月20日（土） 9:30～11:00
会場：高松市男女共同参画センター ※参加費無料
対象：ファミサポ会員・一般の親子 定員50名
3歳未満無料託児あり（定員10名）



★まかせて会員・どっちも会員スキルアップ研修・交流会★

12月 「安全対策について」（予定）＋ 交流会
平成27年2月 「児童心理について」（予定）